

ひめだ高松ニュース

日本共産党 和歌山市委員会

No. 965

13. 6. 26

6月定例会市議会報告



6月23日投票の東京都議選で、日本共産党は、現有の議席から17議席に倍増。候補者全員とすべて
の支持者に感謝します。今号は、日本共産党
和歌山市委員会の二人の一般質問を報告します。

イノシシ被害対策

地域の集情に 応じた対策を

6月17日(月)日本共産
党の森下さち子市会議員は、
一般質問でイノシシ被害対
策の課題を探るために広原
から名草山へ登り、放置さ
れた竹林でイノシシがタケ
ノコを掘ったあとがあった
と述べ、現時点での課題と

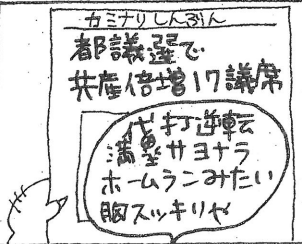
対処の考えを質し、地域に
応じたイノシシ対策の必要
のうせき(せき)えき(えき)げん(げん)しやう(しょう)
6月17日(月)日本共産
党の南畑さち代市会議員は、
脳脊髄液減少症について一
般質問しました。脳脊髄液

症の周知対策

減少症は、交通事故やス
ーツ事故などにより脳脊髄
液が漏れだし、頭痛、頸部
痛、めまいなど様々な症状

性を訴えました。

森下議員は、学童保育に
ついて、国が子ども・子育て
支援法において、学童保
育を小学校6年まで広げよ
うとしていることに関して
現在の待機児童の解消、施
設・指導員の待遇・保育内
容の改善など、この機会に
市が思い切った計画作りを
行うことを要求。現場の指
導員や保護者からの意見を
十分聞き、計画作りを進め
ることを求めました。



を引き越すす痛気です。治一療に有効とされている硬膜

こんにちは ふじい健太郎 です。(その373)

先週の日曜日、地元の
四ヶ郷後援会で、日本共
産党を語るつどいを聞き
48人の参加がありました。
最初に東京で志任委員長
が語る演説会のDVDを
見たあと、原やすひさ子
定候補からの訴えをし、
その後、松坂市議と私、
藤井が参加者からの質問
や意見に答えるという趣
向のものでした。

全体で1時間30分もあ
ればいいのかと思っていた
ものが、2時間を超える
ものとなりました。
演説の中で、ユニクロ
の会長一家がアベノミク
スで半年間に1兆円もの
資産を増やしたというく
だりもあり「株」の問題
や「税金をどうやって増
やすのか」「あまりにも
高い介護保険料」など話
題は尽きませんでした。
DVDでは東京都議選の
訴えもあり、ちゅうご投
票日でもあったことから
話題となりました。
当日は、疲れていたこ
ともあり、早く寝てしま
っていたら、夜中の12時
前に、突然、推挙が鳴り
何事かと思えば「都議選
みかったね」というお祝
いの電話がありました。
まもなく参議院選挙、
悔いを残さない選挙にし
たいものです。



ふじい健太郎
前県議員

外自家血注入療法（ブラッドパッチ療法）は保険適応外で、患者の方は高額な医療費と痛みの認知度が低いこと（苦い）とあります。和歌山県議会も2月議会で保険適応を求めるとともに子どもの実態調査を進めることなどを求める意見書を全会一致で可決しました。

南畑議員は、学校現場での病気の周知などの取り組みや学校保険安全法の対象疾病とすることを要求。

放射能の影響無視する非道

6月5日（土）「福島の子どもの達の・今」という講演会に市議団からも聞きに来た。話しを聞いてくれました。講師は、上岩出診療所の山崎知行医師で、山崎医師は月ノ回る泊4日、会津若松を拠点に各地を回り線量の測定や健康相談活動を行っているとのこと。

福島原発事故とチェルノブイリ原発事故の放射能も

水と影響範囲を同じ縮尺の地図で説明。本来避難しなけいばならない所に住まわす政治の非道と無責任さがよくわかりました。

演説会のお知らせ

7月4日（木）19時～
新三井寺団地集会所

7月7日（日）13時～
新三井寺地場産センター

☆ぜひおこしくたさい。

こどもたちは日本共産党

山下よしき参院議員と白浜の旅館組合を訪ねた。そのあと串本町役場では副町長さんや職員のみならずから防災対策の取り組みを聞き懇談。大地震の場合、最悪に川の津波

が3分以内に押し寄せる海辺の町・串本。町内すべての小中高の児童と生徒に救命胴衣を完備しているなど、きめ細かい対策が考え抜かれている。

次に新宮市へ。昼食後、時からの演説会に180人盛り上がった。さらに車で那智勝浦町へ。漁業協同組合で寺本町長と片谷組合長



原やすひさ (参院選孝区)

と懇談。寺本町長から一昨年の大水害の復旧がまだ途上であることや片谷組合長からは漁業が直面している苦境の生々しい話を聞かせていただいた。

「こどもたちは」ヨドメウキだす

山下よしき参院議員から、手紙が届きました。

22日は、朝日覚めるまで波の音がきこえ、美しい白良浜が見えました。温泉に浸かってリフレッシュ。和歌山はいいですね。今回は、新宮市での演説会と、白浜、串本、那智勝浦の自治体や団体を訪問させていただきました。那智勝浦町長をはじめ多くの方にお世話になりました。和歌山市内のみならずにも関係の深い、地震・津波問題の意見をいただくことができました。

さて、国会の会期が終了。あ、という間に参院選がたたかれました。7月です。6月10日、新たな比例候補が発表されました。その中に、山崎洋さん（32歳）がいます。2年前の7月22日予算委員会、私は「ソニーによる被災地での期間社員の新雇止めを許すな」と総理に迫りました。そのとき、雇い止めと聞いて勝利した元期間社員の青年の一人です。6月16日、その山崎さんと一緒に宮城で演説会。「若者が希望を持ってない、子どもたちに夢を叶えさせてあげない。そんな社会でいいのでしょうか。誰もが人間らしく働けるルールをつくるために日本共産党を大きくしていただきます」。彼の思いのこもった演説に、満席の会場から大きな拍手が起りました。うれしかった。いやいよ、お躍進と私自身の3選をめざしたたかいが始まります。東京都議選の17人当選は大きな確信です。くらくと景気・原発ゼロの日本、憲法を守りいかす政策を正面にたたかい抜き必ず躍進を。ぶつぶつと決意がたぎっています。